

松 緑 白 花

Vol 27

石垣市立石垣中学校
教 頭 市原 教孝

県2冠の金城あいさん。2年100Mは惜しくも0"21差で2位。ライバルの背中はもうすぐそこに。(写真は地区陸上)

10/17(土) 金城あいら、悲願の頂点！

共通女子200M、八重山新記録で栄冠 第57回県中学校陸上競技大会(県総合陸上競技場)

「八重山にはまだあんな子が隠れていたの？」県陸上専門部の先生方が驚嘆したという。金城あいさん(2-5)がついに頂点に立った。これまで九州屈指のトップアスリート・玉城茉歩さん(二中2年)の陰に隠れ「万年2位」。悔しい思いを続けてきた。今年は地区大会後も緊張を緩めることなく、厳しい練習を重ねた。

共通女子200M。「特にスタートが劇的に良くなった」と指導の大和田享弘先生。そのまま加速し、勢いを保ったままゴール。タイムは26秒11。何と平成12年、新村弘美選手(二中)が作った記録(26秒16)をも上回った。15年ぶりの八重山記録更新だ。また八重山選抜Aチームの第2走者として、2年女子4×100Mリレー(52秒52)も優勝。彼女は今大会、2度も、表彰台の一番高い所に立った。

おめでとう！ 頑張り続けて、本当によかったね。よく頑張りましたね。

このほか伊志嶺拓磨君や後富底武司君らが出場した1年男子4×100Mリレーでも優勝を飾るなど、石中生は本来の実力をいかに発揮した。結果は以下の通り。

【男子】：1年100M④後富底武司(1-2)12"01、1年4×100MR①伊志嶺拓磨(1-3)、後富底武司(1-2)48"44、2年4×100MR③下地駿馬(2-3)47"32、共通4×100MR③大城智弘(3-4)45"61、共通走幅跳③川満聖士(3-6)6m28、共通男子砲丸投⑤友利仁亮(3-6)11m52、【女子】1年4×100MR⑦下地鈴夏(1-3)55"94

陸上・柔道、ダブルの朗報

10/17(土)

城間須弥が県50kg級を制覇

無念からの復活、次の高みへ！

第38回県中学校柔道大会(県立武道館)

念願がやっと叶った。須弥(2-5)は2月、第58回全沖縄中学校新人柔道大会決勝の暁に立ち、互角以上の戦いをしていた。ところが、一瞬の隙をつかれ、あわや一本負け。身を挺して避けようと、右手で体を支えた。鈍い音。全治6ヶ月の骨折。この夏の中体連総体も欠場、ひたすらリハビリを続けた。

1回戦は見事な払い腰で中村君(山内中)に一本勝ち。2回戦も一本背負いで饒平名君(南風原中)を仕留めた。試練は準決勝の阿嘉君(嘉手納中)との対戦。互いに譲らず延長へ。強靱な精神力と鍛えたスタミナ。ゴールデンスコアの開始早々、背負い投げで鮮やか一本。これで波に乗り、準決勝の真境名君(南風原中)、決勝の糸数君(南風原中)とともに押さえ込みで一本勝ち。結局オール一本勝ちの優勝だった。

右写真は母・公枝さんに届けていただいた。「これから須弥君の時代が続きますね」に、公枝さんは「いいえ、須弥は次、一つ上の階級に挑戦します」とのこと。目指せ、東京オリンピック！



念願の王座にたどりついた城間須弥君(中央)。左は渡慶次堅吾君(2-2)。堅吾君はベスト4の桃原彪真君(与那原)相手に大健闘、惜しくも判定で2回戦進出を逃してしまった。捲土重来を！

11/1 (日) PTAソフトバレー大会&野球部優勝報告会

9:00～ チケット販売中!! 困った時はおたがいさま!



2か月前。あの「夏祭り」は、「郷土芸能部の全国大会(東京)出場を応援しよう!」と開催しました。当日は花火まで上がり、まさに「Fantastic」なLiveでした。

感動の理由の一つに、生徒会・部活動・職員・保護者、そして地域の皆さんが一つになって「郷土芸能部の東京派遣を応援しよう」と頑張ったことが挙げられるのではないかと思います。

あの日、野球部はたくさんのテントを建ててくれました。野球部保護者会はバザーに取り組んでくれました。それからあの盛大な花火をご提供いただいたのも、市内企業を回り、たくさんの協賛金を集めていただいたのも野球部保護者の方でした。おかげで郷土芸能部に無事、20万円をお渡しすることができました。

今度はみんなで野球部を全力応援してあげましょう。先日、PTA役員会で提案、急きょ「野球部優勝報告会」を開催することにしました。PTAソフトバレー大会終了後に開催します。すでに、右の通り、吹奏楽部・郷土芸能部・生徒会役員も友情出演で応援してくれます。

16日(金)、バレー大会組合せ抽選会に参加いただいた学級PTA役員の方々にチケット(1枚¥2000)販売をお願いしました。保護者の皆さま、ご購入をよろしく願いいたします。九州大会出発まであと4週間。経費は最低でも340万円とか。野球部保護者の皆さまは、派遣費捻出に困っておられます。「困った時はおたがいさま」です。

【報告会プログラム】(案)		司会：内原英祐
1	座開き「鷲の鳥節」	郷土芸能部 10名
	吹奏楽部演奏	吹奏楽部 18名
	選手・監督入場、登壇	吹奏楽部 18名
2	乾杯	教頭 市原孝孝
3	選手紹介と大会報告	主将 田本 涼
4	会長あいさつ・寄付贈呈	会長 下地盛喜
5	決意のあいさつ	監督 兼松良明
6	ダンス	生徒会役員有志
7	踊り	郷土芸能部 40名
8	校長あいさつ	校長 南 和秀
9	閉会あいさつ	副会長 與那嶺修

10/18(日) 祝・優秀賞 玉城大地君(3-1)「乗り越える」 石垣市PTA意見発表会



みなさんには、どうしても乗り越えたいけれど乗り越えることが難しい壁はありますか。壁とは、人が生きていく中で必ず訪れる試練のことです。みなさんは、これまで生きてきた中で多くの壁を乗り越えてきたことでしょうか。しかし、その壁は、成長するにつれ、大きく高いものになり、乗り越えることが難しくなってくると思います。中学三年生の僕にもその経験があります。次から次へと訪れる、厚く高い人生の壁。みなさんは、その壁をどのようにして乗り越えていますか。

僕は去年、職場体験で保育園に行くことを希望し、その希望がかなない保育園で体験する機会を得ることができました。そこで僕は0歳児と一歳児のクラスを受け持つことになりました。乳児期の子どもたちは、立ったり、走ったり、ジャンプしたりして、行きたい場所へ行ったりすることはできません。子どもたちは、両足で立っている僕たちを見て、見よう見まねで立とうとします。しかし、足に力が入らず、ドンと尻もちをついてしまいます。それでも子どもたちはそこで諦めることはありません。何度も何度も挑戦し続けるのです。

「今は一人で立とうとしたから駄目だったんだ。次は何かにつかまって立とう。」

と子どもたちは考えたのか、前回の失敗を受け止め、次のステップへと進んでいきます。何度でもその試練に立ち向かっていく子供たちを見ていると、「立ちたい、歩きたい」というその子どもたちの気持ちが伝わってきました。それと同時に、「試練を乗り越えたい」と思うことは、人間の本能であるということに気付きました。

しかし、一人では乗り越えることが難しい人生の壁もあると思います。

僕が小学校二年生の時に親友が亡くなりました。とても急な出来事だったため、最初は受け入れることができませんでした。親友がいなかった日々は毎日が辛く、悲しく、不安でいっぱいでした。今でも、その子の机に花が飾られていたことを思い出すと胸が張り裂けそうな思いがします。そんな僕に優しく手を差し伸べてくれたのは、家族や担任の先生、友人でした。僕は、周りからの温かい声かけやサポートにより、だんだん元気を取り戻していきました。「自分もその子の分まで頑張って生きよう」と体の中から力が湧いてくるのを感じました。当時、運動が苦手だった僕は、自分を変えたいと思い、バレーボールをすることに決めました。しかし、すぐにうまくなれるはずがなく、何度も諦めたりしましたが、その度に親友のことを思い出し、悲しみを勇気に変えて、毎日部活に打ち込みました。そうしていくうちに結果がついてくるようになり、僕の周りにはたくさんの仲間ができました。今の僕があるのは支えてくれた人がいたからだと思っています。今度は、僕が困っている人の支えになろう。そして、今自分にできることを全力でやり尽くそうと心に決めました。今、僕は生徒会役員としてたくさんの学校行事の運営や困っている人のサポートなどを行っています。生徒会活動ができるのもあと二か月です。自分にできることを一生懸命取り組んでいこうと思っています。

人生の壁を乗り越えることは、不安が伴うものだと思います。乗り越えることができるのなら、新しい自分を見つけることができますし、新しい出会いも増えるでしょう。これから先、厚く高い壁にぶつかっても、僕は諦めず立ち向かっていきます。壁の向こう側の景色を思い浮かべながら。



優良賞の佐渡山莉子さん(2-5)。「新しい自分」でよく頑張りました。